

## 景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

### 【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式  
調査時点 平成28年9月1日発送  
平成28年9月12日投函期限  
調査対象 信用保証利用先1,500企業  
有効回答数 316 企業(回答率 21.1%)

※ 当期: H28年7月～9月実績見込  
次期: H28年10月～12月期予測

### 【DI値について】

- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

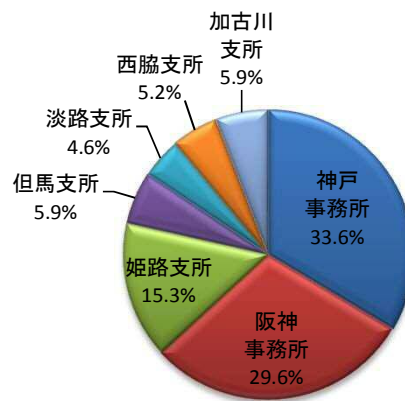
兵庫県信用保証協会



## I. 貴社の概要について

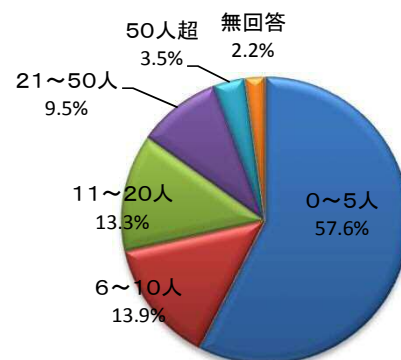
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	103	33.6%
阪神事務所	91	29.6%
姫路支所	47	15.3%
但馬支所	18	5.9%
淡路支所	14	4.6%
西脇支所	16	5.2%
加古川支所	18	5.9%
小計	307	100.0%
地域不明・無回答	9	-
合計	316	-



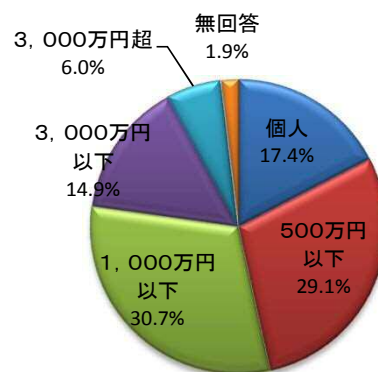
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	182	57.6%
6～10人	44	13.9%
11～20人	42	13.3%
21～50人	30	9.5%
50人超	11	3.5%
無回答	7	2.2%
合計	316	100.0%



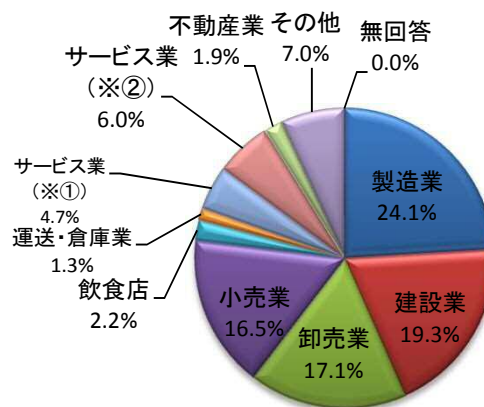
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	55	17.4%
500万円以下	92	29.1%
1,000万円以下	97	30.7%
3,000万円以下	47	14.9%
3,000万円超	19	6.0%
無回答	6	1.9%
総計	316	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	76	24.1%
建設業	61	19.3%
卸売業	54	17.1%
小売業	52	16.5%
飲食店	7	2.2%
運送・倉庫業	4	1.3%
サービス業(※①)	15	4.7%
サービス業(※②)	19	6.0%
不動産業	6	1.9%
その他	22	7.0%
無回答	0	0.0%
合計	316	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

## Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(16年7～9月期)は、前期(16年4～6月期)に比べどのような状況ですか。  
 (2) 次期(16年10～12月期)は、当期(16年7～9月期)に比べどう思いますか。

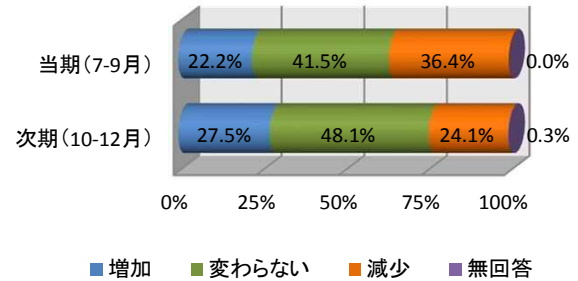
### 【生産・売上】

#### 当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	70	22.2%
変わらない	131	41.5%
減少した	115	36.4%
無回答	0	0.0%
総計	316	100.0%

#### 次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	87	27.5%
変わらないと思う	152	48.1%
減少すると思う	76	24.1%
無回答	1	0.3%
総計	316	100.0%



### 生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月	2016年7～9月	2016年10～12月(見込み)
兵庫県	▲ 11.3	▲ 8.7	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.2	▲ 2.1	▲ 22.1	▲ 19.9	▲ 14.2	3.5

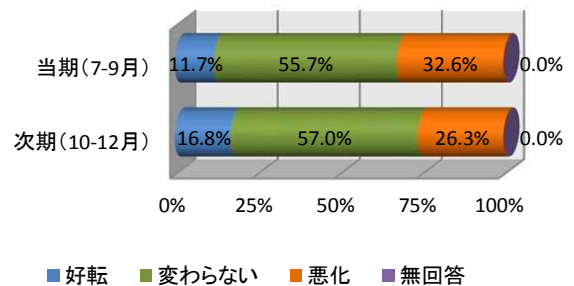
### 【採算】

#### 当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	37	11.7%
変わらない	176	55.7%
悪化した	103	32.6%
無回答	0	0.0%
総計	316	100.0%

#### 次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	53	16.8%
変わらないと思う	180	57.0%
悪化すると思う	83	26.3%
無回答	0	0.0%
総計	316	100.0%



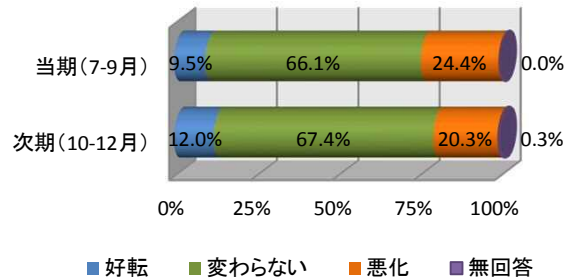
### 採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月	2016年7～9月	2016年10～12月(見込み)
兵庫県	▲ 24.5	▲ 18.0	▲ 24.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 15.2	▲ 23.0	▲ 22.7	▲ 20.9	▲ 9.5

【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	30	9.5%
変わらない	209	66.1%
悪化した	77	24.4%
無回答	0	0.0%
総計	316	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	38	12.0%
変わらないと思う	213	67.4%
悪化すると思う	64	20.3%
無回答	1	0.3%
総計	316	100.0%

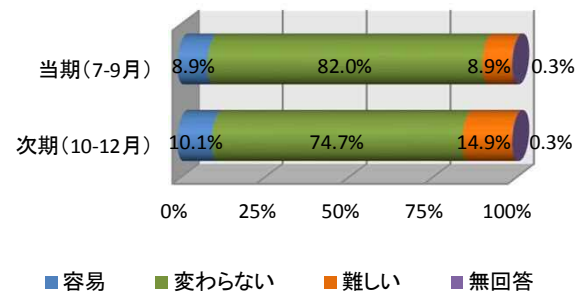
資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月	2015年7~9月	2015年10~12月	2016年1~3月	2016年4~6月	2016年7~9月	2016年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 20.2	▲ 13.5	▲ 15.9	▲ 13.9	▲ 19.2	▲ 16.6	▲ 14.9	▲ 8.2

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	28	8.9%
変わらない	259	82.0%
難しくなった	28	8.9%
無回答	1	0.3%
総計	316	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	32	10.1%
変わらないと思う	236	74.7%
難しくなると思う	47	14.9%
無回答	1	0.3%
総計	316	100.0%

借入難易感DI(容易-難しい)

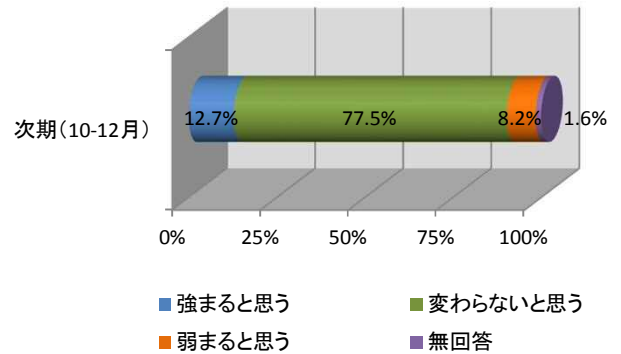
調査時期(実績)	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月	2015年7~9月	2015年10~12月	2016年1~3月	2016年4~6月	2016年7~9月	2016年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 8.0	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 7.9	▲ 4.5	▲ 7.3	▲ 4.5	0.0	▲ 4.7

今回の調査では、当期(7-9月)のDI値は全ての項目において前回調査(4-6月)より改善しており、全体として景況感は上向きました。  
次期(10-12月)につきましても、「借入難易感」を除いた各項目で改善を見込んでいます。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	40	12.7%
変わらないと思う	245	77.5%
弱まると思う	26	8.2%
無回答	5	1.6%
総計	316	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)

調査時期 (見込み)	2014年 4～6月 (7～9月)	2014年 7～9月 (10～12月)	2014年 10～12月 (1～3月)	2015年 1～3月 (4～6月)	2015年 4～6月 (7～9月)	2015年 7～9月 (10～12月)	2015年 10～12月 (1～3月)	2016年 1～3月 (4～6月)	2016年 4～6月 (7～9月)	2016年 7～9月 (10～12月)
兵庫県	4.4	8.0	3.6	2.3	5.8	3.4	2.4	2.2	5.7	4.4

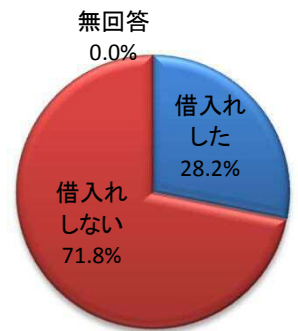
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

**Ⅲ. 当期(16年7～9月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。**

当期に金融機関から借入れをしましたか。  
 ※手形の割引は含めません

選択肢	16年7～9月期		16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期	15年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	89	28.2%	24.5%	32.2%	27.3%	29.9%
借入れしない	227	71.8%	74.9%	67.5%	72.1%	69.5%
無回答	0	0.0%	0.6%	0.3%	0.6%	0.6%
総計	316	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

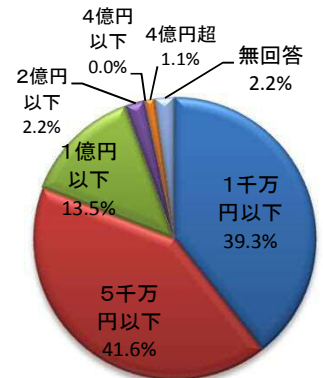
当期「借入れした」とする割合は、前回調査と比べ、3.7ポイント増加しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	16年7～9月期		16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期	15年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	35	39.3%	42.0%	40.2%	43.3%	42.9%
5千万円以下	37	41.6%	25.9%	40.2%	38.9%	41.8%
1億円以下	12	13.5%	16.0%	8.8%	10.0%	8.2%
2億円以下	2	2.2%	4.9%	1.0%	2.2%	4.1%
4億円以下	0	0.0%	1.2%	1.0%	1.1%	2.0%
4億円超	1	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%	1.0%
無回答	2	2.2%	8.6%	7.8%	3.3%	0.0%
総計	89	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

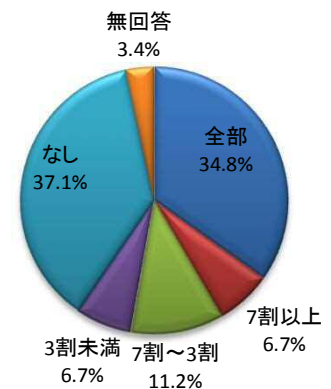
前回調査と比べ、借入総額「1千万円以下」「5千万円以下」の構成比合計が13.0ポイント増加しているのに対し、「1億円以下」「2億円以下」の構成比合計は5.2ポイント減少しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

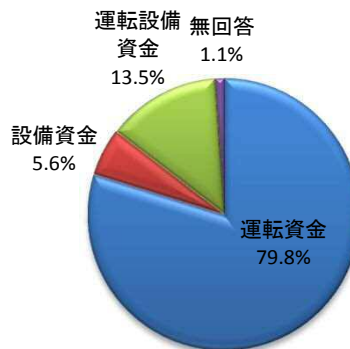
選択肢	16年7～9月期		16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期	15年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	31	34.8%	30.9%	37.3%	30.0%	35.7%
7割以上	6	6.7%	3.7%	6.9%	7.8%	10.2%
7割～3割	10	11.2%	7.4%	8.8%	12.2%	12.2%
3割未満	6	6.7%	7.4%	7.8%	4.4%	4.1%
なし	33	37.1%	39.5%	33.3%	41.1%	36.7%
無回答	3	3.4%	11.1%	5.9%	4.4%	1.0%
総計	89	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答は3.9ポイント増加し、「なし」とする回答は2.4ポイント減少しました。



当期借入金の目的は何ですか。

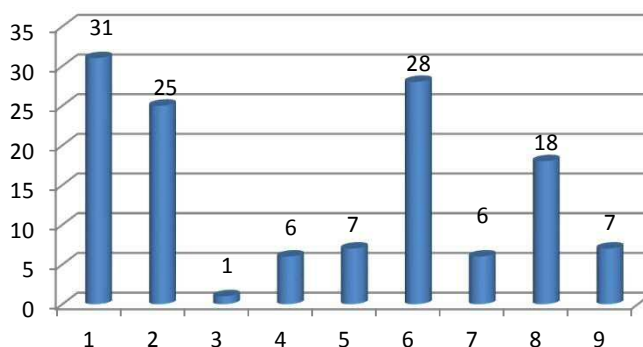
選択肢	回答数	構成比
運転資金	71	79.8%
設備資金	5	5.6%
運転設備資金	12	13.5%
無回答	1	1.1%
総計	89	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

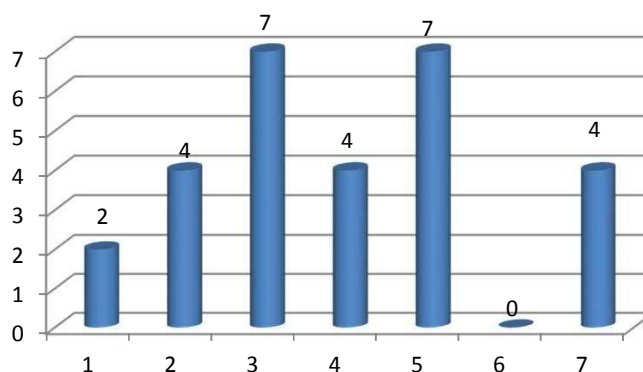
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	31
2 売上減少・赤字補填	25
3 過剰在庫対応	1
4 支払条件短縮対応	6
5 回収条件悪化対応	7
6 売上増加運転資金	28
7 在庫積み増し	6
8 季節運転資金	18
9 その他	7
総計	129



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」の順となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

選択肢	回答数
1 新規事業	2
2 生産増強	4
3 合理化・効率化	7
4 設備老朽化に伴う入替	4
5 修理・修繕	7
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	4
総計	28

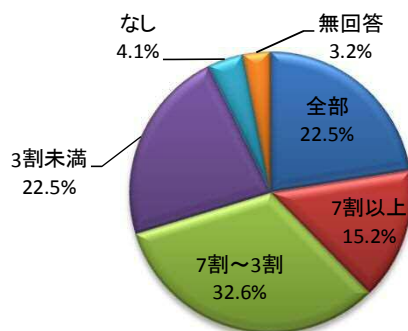


設備資金の種類は、「合理化・効率化」および「修理・修繕」が同数で最も多くなっています。



IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(16年9月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

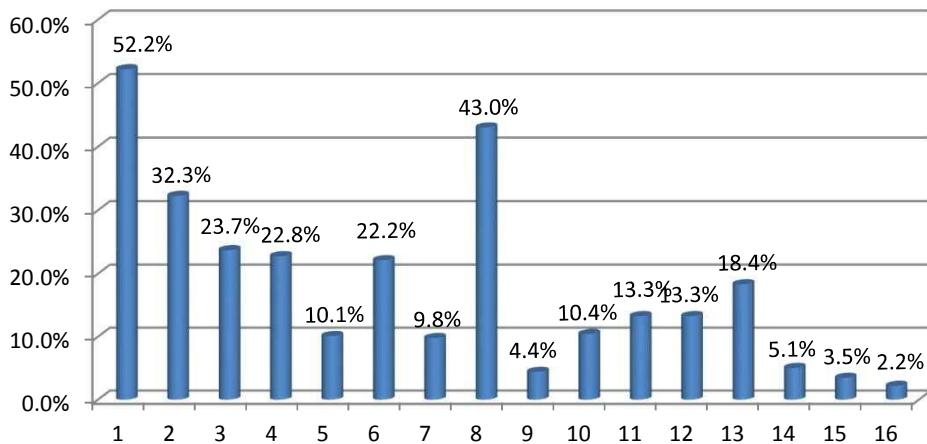
選択肢	16年7～9月期		16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期	15年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	71	22.5%	20.5%	26.5%	23.3%	22.9%
7割以上	48	15.2%	18.7%	15.1%	16.7%	19.8%
7割～3割	103	32.6%	29.0%	27.1%	26.7%	28.7%
3割未満	71	22.5%	20.5%	19.6%	20.0%	20.1%
なし	13	4.1%	5.1%	5.4%	4.2%	4.0%
無回答	10	3.2%	6.0%	6.3%	9.1%	4.6%
総計	316	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



借入総残高に占める信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「7割～3割」の合計が70.3%となっています。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	165	52.2%	9 過剰在庫	14	4.4%
2 競争激化	102	32.3%	10 設備投資	33	10.4%
3 コスト高	75	23.7%	11 後継者難	42	13.3%
4 業界構造変化	72	22.8%	12 資金調達	42	13.3%
5 取引条件の悪化	32	10.1%	13 借入過多	58	18.4%
6 消費者ニーズの多様化	70	22.2%	14 為替	16	5.1%
7 技術・商品開発	31	9.8%	15 海外景気の減速	11	3.5%
8 人材・労働力の確保	136	43.0%	16 その他	7	2.2%



経営上の課題については、「売上・受注の減少(52.2%)」が最も回答割合が高く、次いで「人材・労働力の確保(43.0%)」、「競争激化(32.3%)」の順となっています。

